



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

## 2016年3月号ブリテン 第310号

### 2015-2016年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「信念あるミッション」" Mission with Faith"  
「愛をもって奉仕しよう」" Through Love. Service"  
「原点に立って、未来へステップ」 (甲府クラブ)  
「ワイズメンとして一歩前進」 (甲府クラブ)  
「若い世代と経験と活力の交換」

会長 大谷博愛  
副会長 小山憲彦  
書記 菰淵光彦  
会計 柴田弘子  
直前会長 長津徹  
担当主事 岡田ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Wichian Boonmapajon  
アジア会長 Edward K. W. Ong  
東日本区理事 渡辺 隆  
あずさ部部長 標 克明  
サンライズ会長 大谷博愛

### 3月第一例会のお知らせ

と き 3月10日(木) 19:00~21:00  
と ころ 東京YMCA 山手センター  
か い ひ 500円  
と う ば ん (宅組)小山(久)、内迫、小野田、菰淵、染谷、長津

#### ◆プログラム

開会点鐘	会 長
ワイズソング・ワイズの信条	一 同
ゲスト・ビジターの紹介	会 長
卓話『BFオーストラリア報告』	小山久恵さん
テイस्टィング・タイム	一 同
ハッピーパースデー	会 長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会 長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で  
伊丹亭 21:15~

### 3月以降の予告

3月26日(土) DBC3クラブ合同例会/東京 12:00~  
4月 2日(土) 第二例会 山手センター 16:00~  
3月10日(木) 第一例会 山手センター 19:00~  
4月23日(土)~24日(日) 山中ワーク・合同例会 13:00~  
◇23日ワーク終了後、富士五湖クラブと合同例会を予定

### 山手学舎『ナベ例会』報告

内迫 裕

2016年2月11日(木) 東京YMCA 山手学舎

本日、建国記念の日に例会を持つことができた。普段は、大人の円熟した香り満載の我らサンライズ例会であるが、この日は少し趣が異なり、山手センターの学舎に住まう舎生との懇親会を含めた鍋パーティを行った。

舎生は、近隣の大学に通う学生で、18歳から23歳くらいの男子が寮生活している。その舎生と我らのサンライズの融合がどのように行われたかをレポートしよう。

まずは、総勢29人が10人くらいのグループ3つに分かれる。各鍋テーブルに舎生3、4人サンライズ5、6人とといった割合だ。乾杯のあいさつの後、大谷会長からのテーマが発表される。「選挙権が18歳から施行されることになったが、

【次頁へ続く】



【大谷会長の挨拶】

### 3月のハッピーパースデー

18日 長津 徹 さん  
27日 小山 久恵 さん

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 1月例会出席者

在籍 18名  
メン (Make up 1名) 15名  
メネット・コメット 0名  
ゲスト・ビジター 14名  
出席率 83%

●2月のBF切手：2.9kg(累計：2.9kg) ●ニコニコ：1,421円(累計：21,178円) ●ブルタブ：5.0kg(累計：5.0kg)

そのことについて論議せよ。」まるでディベートのようないきなりの論題であったが、各テーブルでは、鍋をつつきながらこの論題に対して真剣な議論が始まった。私もニュースでこの話題は聞いていたものの、何のためにその法律が決まったのかを知らなかったのが興味深い話題であった。1時間ほどしてから各グループ発表が始まった。

1グループの発表：選挙権については、若者も興味を持っている。政治の話から年金の話まで膨らんでいった。TTPなどの影響で物の値段が変わってきた。

2グループの発表：18歳に選挙権に引き下げることのメリットとデメリットを話し合った。選挙人口を増やして若い人にも政治に興味を持ってもらう。選挙に3回行かないと選挙権をはく奪すればいいのではないのか？また、高齢者には選挙権はいらないのではないかなどの意見が出た。

3グループの発表：18歳の人たちはあまり考える時間がないのではないのか？という話からサンライズはどんな会なのかを話し合った。

と各グループ、若者とのジェネレーションギャップを克服して(舎生が付き合ってくれて！)楽しいひと時を過ごした。

今回は、女子学生も入れて語りたかったと筆者は思った。



閉会后、延長戦は終電車を睨みながら深夜まで続けられた。  
出席者：大谷会長、内迫、江原、小野田、小山(憲)、小山(久)、河野、菰渕、柴田、島田、染谷、立田、長津、御園生  
舎生：池田さん、小林さん、成田さん、藤本さん、舟山さん、松浦さん、村山さん、山田さん  
ゲスト：石井さん(小野田)  
ビジター：大野さん(東京西)、久保田さん(東京八王子)、蔵地さん(学舎OB)、服部さん・藤江さん(東京たんぼぼ)

★★

## 《鍋例会の感想》

私は昨年の例会に出席できなかったのが初の参加となりました。今回皆様と話して思ったことがあります。一般には若者の方が常識に囚われず、年齢を重ねるほど頭が固くなっていくものだというイメージがあるかと思いますが、むしろ逆なのではないかということです。選挙権について各テーブルで話した時、私のテーブルでは「選挙権の年齢に下限だけでなく上限を設ける」「選挙に一定の回数行かなければ選挙権を剥奪する」などユニークな案が出てきました。どれも舎生の側から出たものではありません。経験を重ね引き出しを増やし、点であるそれらを線で繋げていくことが新しいものを生み出す原動力となるのではないのでしょうか。(舟山慶彦)

2月11日のサンライズとの交流会における私のグループメンバーの政治に対する関心は、一般的な世代別データと同様に、若い舎生は全く無関心なのに対し、より上の世代のサンライズの方々は今後の政治の動向に強い懸念を抱いているようだった。私が思うに、若者の政治への無関心は、政治家の不祥事とは無関係で、むしろ一部のエリートが担っているという閉鎖性や、若年層が景気回復や福祉など政治の恩恵を感じられずにいることのせいでなんとなく政治が疎遠になっていき、やがては他人事として認識するに至っていることに起因するのではないだろうか。ただ、関心がないのは仕方ないにしても、投票には行かねばならない。選挙は私達国民の代表を選ぶ重要な機会であるだけでなく、政治家の行動・主張を精査し弾劾する機会でもあるからだ。投票行為自体は選挙権の行使に過ぎないが、同時にそれを通して若者が自らを含む国全体の将来について考え、意思表示することは、国民各人の義務でもあると思うのである。

(小林太地)

今回は、学舎とサンライズの交流がよく図れた素晴らしい会合でした。食事については、美味しいお肉やお野菜を鍋にして頂きましたが、どの鍋も非常に美味しく、お酒が非常に進んだのを覚えております。個人的には、高級な「今半」のお肉が食べられたことに感動を覚えていた次第であります。

また、淘I挙権狼という話題をきっかけにしたおかげで、離れた世代同士で会話が弾みました。とても素晴らしい企画だったと思います。選挙権を得たばかりの人や、自分より上の代の方の意見を聞くのは勉強になりました。

来年以降に関して、学舎としても積極的に協力して、このような交流の場を持ち続けたい、と思えました。(佐藤大介)

## 2月第二例会報告

柴田弘子

2月20日(土)16時から山手センターにて第2例会を開催しました。大谷会長が遅れるため出席者だけで下記の議題について確認と議案を話し合いました。

・3月26日(土)東広島クラブ、京都プリンスクラブとの3クラブ合同例会の案として。

上野駅に12時に集合して浅草界限、巣鴨地藏通りを散策、16時より池袋「藤香想」にて合同例会を開催する。

後日小山さんより詳細をそれぞれに連絡。

・4月の山中湖ワーク

先にメールでお知らせした日程が、二転三転しましたが、サンライズのメンバーができるだけ参加できる日を考慮し4月23(土)～24日(日)に決定しました。

山中ワーク実行委員長は長津さんです。

作業は手すりのペンキ塗りの予定。

・台湾アジア大会

IYCにサンライズがスポンサーとして、舎生の小林大地さんをエントリーする案が出ました。

ブリテン原稿の割り振りを済ませた後、18時半には伊丹亭に席を移しました。大谷会長、菰渚さんも加わり、山中ワークの日程変更等例会の報告をしながら、飲食を楽しみ20時過ぎ、早めの解散になりました。

出席者：大谷会長、小山(憲)、小山(久)、菰渚、柴田、長津、御園生

## 第2回あずさ部「きさらぎ」評議会

菰渚光彦

2016年2月13日(土)サンライズからは大谷会長、小山(憲)副会長、柴田会計、菰渚書記の4名が出席。柴田メンと菰渚が新宿から、大谷会長と小山メンが立川からスーパーあずさ5号に乗り込んで松本を目指した。会場「あがたの森文化会館」は旧制松本高等学校の校舎を保存した重要文化財で、広い敷地に大きなヒマラヤスギで囲まれた施設であり、その中の木造の校舎の2階が評議会の会場だった。階段や廊下を歩くと木造の部分は木材の軋む感じが、あずさ部の歩みの音のように趣ある音色に聞こえた。

はじめに、開会式の司会を務められた松本クラブの金井メンから100年の歴史を持つ施設の説明の後、標あずさ部部長による開会点鐘で始まった。全員のでワイズソング・ワイズの信条に引き続いて、小倉部会計による聖書朗読といのりがあった。ホストクラブの飯島会長から「今回は雪の心配のない松本へようこそ。和歌山クラブからのアルコールより旨いおいしい水を各テーブルに配りましたので、1時からのおいしい食事を楽しみに。」と歓迎の挨拶があった。



続いて評議会が始まり、司会は荒川書記にバトンタッチ、議決権者と委任状が定足数を満たし標部長による評議会成立宣言が行われた。

議案は①2016-2017年度 部役員承認の件 ②2015-2016年度 部中間決算の件 ③2016-2017年度 部選出代議員

についての承認を求める ④2015-2016年度 CS助成金配分の件 で全て承認された。その後、標部長による第2回東日本区役員会の報告があった。事業主査・クラブ会長の活動報告が続き、順調に閉会式となった。

松村監事は「各地の11クラブそれぞれが、頑張って活動されていることがうれしい。」と評価された。YMCAの歌を斉唱、部長による閉会点鐘を以って無事評議会は終了した。記念写真撮影は階段の斜面を使っでの取り組みであったがなかなかアングルが定まらず、カメラポジションと被写体を正反対にして何とか全員がフレームに収まった。

食前の感謝と乾杯は山手クラブ浅羽次期部長が行い、その後6つの分団に分かれて「あずさ部を元気にするには」というミニ分科会を持った。私は分団の目前に座っていた望月直前部長を指さしながら「あずさ部を元気にするには、これしかございません、てまひま堂のニンニク・ゴーゴー、はい望月さんの元気の素ですよ。」口火を切り、和やかな中から、いろいろな意見が飛び出し話し合わせ、分団長の浅羽次期部長がまとめて発表した。①あずさ部会員数をTopにする。②ゲスト同伴で例会参加し、クラブ皆でケアする。③各クラブ支援を考える、④長野クラブで学んだ事。⑤結局は甲府クラブに期待する。以上、15時に終了。あがたの森文化会館の敷地内を散歩して、松本駅までノンビリ歩いて帰途についた。

## 東日本区ニュース 第8号

2016年2月1日発行

東日本区理事 渡辺 隆

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

\*\*\*\*\*

### ご近所のクラブでは

交流委員会

- ◇ 3月 1日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇ 3月 8日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇ 3月 8日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇ 3月 9日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇ 3月12日(土)11:00～ 甲府クラブ野外例会
- ◆ 3月12日(土)14:00～ 東京八王子クラブ  
地雷廃絶チャリティーコンサート
- ◇ 3月12日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇ 3月12日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇ 3月15日(火)18:30～ 東京山手クラブ/TOF例会
- ◇ 3月16日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇ 3月17日(木)18:45～ 東京西・東京世田谷クラブ合同例会/山手センター
- ◇ 3月19日(土)～20日(日) 富士五湖クラブ/伊東移動例会
- ◆ 3月26日(土)13:00～ 東京たんぼぼクラブ  
libyチャリティーコンサート
- ◆ 4月 2日(土)14:00～ (仮)石巻広域クラブ設立総会

## ひよこのつぶやき

紙面の都合で休載します

## 西条便り

今月は休載します

## 今月の京都プリンスクラブ Vol. 59

## 京都プリンスクラブ 岡西博司さん

大きな問題が発生しました。次期会長の田中君に、突然「癌」という診断が下され、2月早々に入院されました。今は抗癌剤としての化学療法をされています。3月の早々にも第二回目の化学療法をされ、その後手術と言う事になっておられます。次期の会長は、とりあえず降ろさしてくださいとの事。そこで浮上してきたのは、今期の蒔田会長がもう一年会長職について頂くという案です。

田中君の一日も早い復帰を心よりお祈りする事しか出来ない僕たちです。

東京サンライズ・東広島の皆様も心よりのお祈りをお願い致します。

## 強調月間：BF

## ファンド委員会

BFは、Brotherhood Fundの略称で、メンバーの国際交流の資金を作る国際事業です。今年度の東日本区の目標は、メンバー一人当たり2,000円です。

BF代表とは、国際から旅費を支給されて、他地域を訪問する代表のことで、前年度のBF拠出実績に応じてBF使途委員会が次年度のBF代表枠(どの地域からどの地域へ何人)を決めて、公募します。

BF代表にはフルグラント(全額補助)とパーシャルグラント(一部補助)の2種類があります。

フルグラントは3週間～5週間、他地域のクラブを目的を持って訪問します。スケジュールは訪問先のTC のつくる旅程によって行動します。また、帰国後は国際本部に報告書を提出すること、求められれば区内のクラブ例会に出席し、成果を報告する義務があります。なお、近年応募資格が厳しくなり、65歳以下に制限されています。

パーシャルグラントは国際大会や地域大会(アジア大会)に参加する際に実費の50%程度の補助が与えられます。大会出席以外の義務はありません。また、応募者の年齢制限もありません。

サンライズはクラブとしての応募資格は備えていますので、メンバーの積極的な参加をお願いします。

## 編集後記

この度は正直叔父を見送ることになりました。初代サンライズ応援団長(特に山中ワーク)だった父・五郎、二代目応援団長だった今原勇さんに続く三代目の応援団長でした。最近は何歳も歳だったので山中ワークへの参加もなくなっていました。その昔はとて熱心に応援していただきました。四代目になるはずだった前田さんも数年前に見送り、だんだんサンライズ応援団も寂しくなってきました。自分たちも馬齢を重ね、以前のようなワークもできなくなって来ています。

## 山中湖センターだより

山中湖センター 天野愛巳さん

今年の冬の山中湖は暖冬で雪もほぼありません。異常気象とは言え、今年の2月にはダイヤモンド富士の見学のお客様で湖岸が埋まりました。

春も相当早足で近づいています。どうぞ良い季節になりましたら皆さまのお越しをお待ちしております。

なお、昨年4月よりお世話になりました諏訪はこの4月で、山中湖より妙高・野尻の担当として赴任することになりました。短い間でしたが皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。今後は、信越妙高ワイズを担当しますので、皆様には違ったJ形でご関わらせていただきます。

今後とも山中湖センターのお支えをお願いいたし、一言ご挨拶申し上げます。

## YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

1. 東京YMCA「ASCA(アスカ)クラス」が開講20周年を迎えたことを記念して、2月14日、『発達障がいのある子の高校卒業後の「社会自立」の実現に向けて』をテーマに記念講演会が開催された。会場のアンケートには、「親がいなくなったらこの子はどうなるのか。将来が心配で参加した」など、保護者の切実な思いが寄せられ、保護者や支援機関のスタッフなど約140人が山手センターに集い、発達障がいの第一人者である講師陣の話に耳を傾けた。
2. 2月19日、霊南坂教会を会場に、石巻支援センターの活動を支えるための「ウィンターコンサート」が開かれた。このコンサートは、本法人理事である飯靖子氏が指導されている洗足学園音楽大学 讚美歌ゼミの学生によるもので、2013年の夏より石巻の仮設住宅や老人施設などで演奏会を開催している。来場者79名から寄せられた募金は、センターの活動のために用いられる。
3. 今後の主な行事日程
  - ・山手センター東日本大震災支援街頭募金  
3月13日(高田馬場駅前)
  - ・三菱商事・東京YMCAフレンドシップキャンプ報告会  
3月24日(三菱商事ビル)
  - ・libyチャリティーコンサート  
3月26日(阿佐ヶ谷教会)
  - ・チャリティーゴルフ大会  
4月14日(レイクウッド総成カントリークラブ)

「これからは、学舎、山手のリーダーの皆さんの力をお借りして、山中ワークに昔の活力を取り戻すべく頑張らなければならない」と、式の準備をしながら光彦と話し合いました。

ところで、例年12月の声を聞くときと長そでのシャツに着替えるのですが、今年は松本のアジア賞と、スーツを着なければならなかった3～4回以外、半袖で通しました。暖かでした。(Non.O)